

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		KID ACADEMY PERSONAL新大阪校					公表日	2026年 2月 17日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点		
環境・運営・体制整備	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	5	0	必要なお子様には、教材教具を持っていつでも学校の許可を取って使用している。	施設の状況に配慮しながら、活用しやすい教材・教具の提案を継続していきます。		
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1		現状の体制を維持しつつ、より余裕のある支援につながるよう取り組みを工夫してまいります。		
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	毎回個別支援計画を確認してから訪問に行くようにしている。	個別支援計画に基づいた支援を行っているが記録の共有が現状、保護者様とのみになっているので、マンスリーレポート等を活用して園とも連携できるようにしていきたい。		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1				
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	管理者が中心になって日々業務内容を確認している。	その場にいる職員全員で、話をする時間を作っている。		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1				
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	毎月の研修や法定研修を行っている。	引き続き研修を受講していきながら資質の向上を目指していきたい。		
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	5	0	児発管と担当職員、保護者で話しあいを行っている。	保護者様と話す機会を作り、療育と合わせて園でできることや療育ですべきことをアセスメントして実施している。		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	担当職員だけでなく、全ての職員と情報共有を行っている。	引き続き、利用しているお子さまにとっての利益追求に努めていきたい。		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	5	0	担当職員の方と話をする機会を作っている。			
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	計画は全員で把握している。	毎回計画に沿って支援を行っているが、その周知が施設にはわかりにくい可能性もあるのでできるだけ計画目標のどこに基づいているのかを職員に伝える形でフィードバックを行っていく必要がある。		
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0		必要に応じて取り組んでいるが、分かりにくい場合は外部での検査を進めていくことで正しいアセスメントにつなげていけるようにする。		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0		ガイドラインにそって取り組んでいるが、状況に応じてガイドラインの周知をあらためて保護者様に行っていくたい。		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	訪問スタッフが内容を確認して共有している。	支援前に前回の記録を確認したうえで、今日の支援でたほうがいいことを職員に聞く機会をさらにとっていく。		

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	ささいなことも情報共有するように心がけている。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	5	0	訪問先の理念を尊重して、邪魔にならない支援を心がけている。	挨拶に伺う際に、綿密に圖として何を求めているのかを把握するように努めている。
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	5	0	支援計画の目標に基づき詳細に書くようにしている。	記録をした後に、園や学校と共有できる場合は保護者様の許可をとってから共有するようにしているので今後も、行っていきたい。
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	細かく設定することにより達成度が分かりやすいようにしている。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	参加ができています。	
	21	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	必ず担当が参加している。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0		
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	4	1		今後も、状況に応じて外部研修なども受けていきたい。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3	2		今後も、工夫をしていながら参加をしていきたい。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	記録だけでなく対面でもお話するようにしている。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2		周知方法がまだ弱いので2つ以上の媒体での周知を検討していきたい。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	契約時に契約書を読み上げて丁寧に説明している。	今後は、外国語やルビ対応の導入も検討していきたい。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	5	0	訪問前にかがって、目的とねらいをお伝えしている。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	保護者様と一緒に計画をたてている。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	5	0		
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	5	0	定期的に面談を設けて個別に相談できるようにしている。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	5	0		きょうだいへの支援の一環として必要なご家庭にはお話を聞いたり介入しているが、今後は交流の機会なども検討していきたい。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	相談支援員や役所と連携している。	

	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0		
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		外部と連携をとる際には、保護者様に目的と何を連携するのかを伝えるように引き続きおこなっていく。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	5	0	訪問時や訪問後に訪問先の担当の先生と連携している。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	4	1	行っているので、今後も行っていく。	関係性を引き続き作り、カンファレンスができるように工夫していきたい。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	5	0	訪問当日の様子をお伝えしている。	個別支援計画に基づいて引き続き行っていく。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	十分に留意して行っている。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	5	0	療育での様子と合わせて、どう工夫が必要か、発達段階的に考えられることは何かなど、専門的視点で伝えるようにしている。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0		
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	安全計画を作成して掲示している。	保護者様に周知されにくいので、現在とは別の周知方法も検討していきたい。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	ヒヤリハットがあった際には、その日の内に共有して、ミーティングを行っている。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	研修を適切に受けている。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	研修やミーティングを適切に行っている。	